



未来とよなか 志民だより

豊中市議会議員（無所属）

北ノ坊しんじ

市議選直前 特別号

4年間の取り組みを総括 その一部をご報告します。

民間保育所建設にかかわる 契約について

民間保育所を建設整備する際には、公費で4分の3の補助が出ています。そのため、工事の契約に際しては市に準じた形で入札を行っていますが、設計業者に関しては保育所を運営する法人の理事会等で決定されています。設計業者のさじ加減一つで施工業者が限定されてしまう可能性があることを指摘、運用改善を求めました。待機児童対策として莫大な予算がつき込まれる分野の経費節減をこれからも求めていきます。

学校のトイレ改修・エレベーター設置について

豊中には小学校・中学校併せて59校ありますが、近年トイレ改修・エレベーター設置が1校ずつしか実施されていない現状がありました。そのため、全校への取り組みが終わる前に初期に実施した学校の設備耐用年数が到来するため学校間格差が生じることを指摘、年度あたりの実施校数を増やすよう提言しました。その結果、27年度から複数校で実施していくことになりました。

授業時数の確保について

学校が完全週5日制になってから、かえってゆとりのなくなった学校運営の改善と、確かな学力を保證するという意味から土曜授業の復活や長期休業の短縮を提案。エアコン設置がほぼ完了したことに伴い、平成27年度から夏季休業を1週間短縮して2学期の開始が早まることになりました。

北ノ坊しんじ プロフィール

生 年：昭和49年（1974年） 豊中生まれ 妻、子供4人の6人家族

出身校：市立克明小・市立豊中五中・府立豊中高・立命館大・立命館大学院（経営学修士）

議会歴：平成19年初当選（現在2期目）

環境福祉常任委員長・各常任委員会委員・空港問題調査特別副委員長・豊中市都市計画審議会委員等を歴任

現役職：文教常任委員会委員・空港問題調査特別委員会委員・豊中市農業委員会委員

その他：おかまちまちづくり協議会運営委員・ボーイスカウト豊中18団副団委員長兼ローバー隊長・豊陵会（豊中高校同窓会）評議員・立命館大学北摂校友会幹事 など

公共図書館の外部活力導入について

市の行財政改革の重要項目として図書館事業のコスト削減が挙げられたため、外部活力（指定管理者制度）の導入を審議会で検討することになったのですが、審議会の事務局を担っている部署が図書館事業を行っている担当課であるためか、行革関連資料を審議会に当初から提示することなく審議会の運営をしていることを指摘、指定管理導入がなじまないという結論ありきの審議会運営にするつもりかとただしました。残念ながら、予想通りの審議会答申を出されてしまいました。この時の審議会の座長をしていた委員が、市の内規の趣旨にそぐわない選任であったことも同時に指摘、この委員はその後、再任されることなく退任になりました。市民のための図書館運営になるようこれからも注視していきます。

災害時の個人用（常用）医薬品について

東日本大震災の教訓として、医薬品製造や流通ルートの停止により救急用医薬品以外でも不足が生じることが判明。医薬品不足は被災地以外でも発生しました。豊中市薬剤師会と協定を結び、医薬品の在庫の確保を要請するとともに在庫情報を市も共有できる仕組みが市から提案された際、そもそも薬局同士が種類の多い医薬品の在庫を減らす目的の情報共有システムのため、在庫確保には効果が限定的であることを指摘。むしろ、かかりつけ医師の理解・監督のもと、常用薬の必要な個人が自らある一定期間分余分に所持しているほうが効果的であるので医師や市民に啓発すべきと提案。市は法や医療保険制度の趣旨を根拠に難色を示しましたが、現在医師からも同様の取り組みをすべきとの声が出始めているので引き続きこの課題に対して取り組んでいきます。

職員定数のあり方について

府内同規模の自治体と比較して、全体としてまだ多く、また分野によって多い・少ないのバラツキが大きいことを指摘。今後の財政推移を考えると削減目標を設定すべき、また、今日的課題が大きくなっている部署に重点的に人を配置できるよう、人事の硬直化を是正して欲しいと要望。この分野はまだ市の考えと大きな隔たりがあり、これからも継続して取り組みます。

商業の駅前集積について

人口減少・高齢化社会を考えると駅前に商業や業務機能を集約していくまちづくりが必要ではないかと提言。市の総合計画や都市計画、関連部局との連携・調整を図りながら、行政として何をすべきか、何が出来るかを整理していくことを約束してもらいました。

専門職員の人材育成について

たとえば建築確認が民間でも出せるようになり、市における建築関係職員の業務ノウハウ継承が難しくなっていることに代表されるように、分野によっては専門職員の人材育成に課題が出始めているのではないかと指摘。市も同様の認識を持ち、現在、様々な職種における資格取得の支援制度を設けて人材育成に取り組みははじめました。同時に民間企業との人事交流による研修・人材育成にも取り組むよう求めています。

服部天神駅周辺整備について

市も課題認識を持っている服部天神駅関連の整備事業の手始めとして、地権者の協力も得られる環境が整ったことから、地下通路を活用した東西通行の利便性向上に資する整備に着手することになりました。これを契機に豊島体育館やいぶきに通じる歩道の改修にも着手することになりました。駅前広場や都市計画道路もまだ残っていることから引き続き周辺整備に努力していきます。

地域自治について

地域における人間関係の希薄化にともない、コミュニティの強化が課題となっているところに市から地域自治組織制度が提案されました。しかし、組織の認定要件や組織での意思決定の位置づけ、予算のつけ方など大いに疑問のある内容で、およそ自治と言えるものではありません。議会でも意見を二分する大きな問題となりましたが、結果的に僅差で可決されました。今後もこの分野の取り組みに注視し、改善を求めていきます。

中高層建築物にかかわる トラブルについて

代理人による説明

マンション建設などの住民説明会で事業主が出席せず代理者を立てて説明会を開くことが多くなり周辺住民との間でトラブルにつながるケースが多く、事業主に直接説明するよう求めてはどうかと提案。相談のあったケースにおいては事業主に対して指導することを約束してもらいました。

解体の事前説明

マンション建設等において、そもそも既存の建物がある場合、その建物の解体工事の時点から地域住民とトラブルになっているケースが多く、市からの事前説明の指導をするよう提案。その結果、市に解体工事の届け出があった時点で近隣住民等に工事着手前に説明をするよう指導してくれています。

豊中駅北側 連絡橋について

市民の方からの情報をもとに調べてみると、阪急豊中駅高架化事業の中に駅北側に歩道橋の計画があったのですが、連絡するビル側の強度や構造の問題等で実現せず10年以上放置されていきました。そこにきて、連絡するビルの建て替え計画が浮上し、地元からも実現できるのではとの期待が高まったのですが、ビル建て替え事業者がこの計画の存在を知らずに建て替え事業を計画していたこともあり残念ながら実現に至りませんでした。

まちづくり諸条例の 今後について

近年、住宅地における景観や住環境への関心が高まっているが、まちづくり条例を活用した住民組織作りに至らないケースがほとんどで、条例の存在感も薄れている現状を指摘。制度の周知に今一度取り組むと約束してもらいました。

空き家対策に ついて

環境衛生・安全・まちづくりなど様々な観点から見ても問題のある空き家対策に取り組むことになりました。まずは講座や相談事業などを展開するところからスタートしますが、それだけでは解決できないケースも多く考えられることから今後の展開について提案。今後、検討していくことを約束してもらいました。

大阪空港問題について

コンセッション(事業運営権の売却)が行われることになり、環境に配慮しつつ大阪空港の利便性が向上することを願い、空港問題調査特別委員として国土交通省や新関西国際空港株式会社に対して要望活動を行いました。事業者による創意工夫・裁量がどの程度保障されるのか、事業者の競争性の確保によりサービスの向上が図られ結果として利便性の向上につながるのかという点に関して質問・要望を行いました。また、様々な資料から、今回のコンセッションでは運営権者の裁量によっては廃港の判断ができることを指摘。国からは、そのような結果は望んでいないのでそのような判断をする可能性のある運営権者は選定段階ではずすという趣旨の答弁をいただきました。

野良猫対策について

市内に4000匹は生息していると推計される野良猫を、生命の尊厳を保ちながら効果的に減少させていく新たな取り組みを提案。中核市に移行し、保健所の運営を担うことになった豊中市が主体的に取りうる方策はいろいろあるのですが残念ながら取り組みはまだまだです。今後も引き続き新たな取り組みを求めていきたいと思ひます。

東京オリンピック 開催に合わせて

市内スポーツ施設の近代化改修について

東京オリンピック開催が決定した直後の議会(平成25年9月)で、2020年の開催に向けて市内スポーツ施設の近代化改修と、市内施設を利用して事前調整する海外チームを誘致してはどうかと提案。競技によっては国内分散開催の可能性も最近出てきましたので今後のオリンピック委員会の動きに注目しながらこれからも続けて市に提案していきたいと思ひます。

大阪国際空港の国際線就航について

東京オリンピックに向けて、海外からの訪日旅行者数が増加することを念頭に、大阪国際空港の『国際線』就航を目指して豊中市も取り組むよう要望。空港問題調査特別委員会委員として国土交通省や大阪国際空港の運営者である新関西空港会社にも積極的に働きかけてきました。引き続き、あらゆる方法を模索して取り組んでいきます。

これらの他、教育や子育て、環境、福祉、防災、少子化対策などあらゆる分野に取り組んできました。やり残したこと、取り組みが不十分なものもありますが、引き続き課題意識を持って取り組んで参りたいと思ひます。

ご意見・ご質問・ご感想は下記まで

北ノ坊しんじ事務所 (月～木あさ10時～夕方5時まで、祝日休み)

〒561-0885 豊中市岡町10-10

電話06-6857-7620 FAX:06-6857-4814

E-mail: shinji@kitanobo.net (FAX番号変わりました)